

平成 28 年度第 2 回 神戸市保健医療審議会 医療専門分科会 議事要旨

1. 日 時 平成 28 年 1 月 9 日 (木) 13:30~14:17

2. 場 所 神戸市医師会館 3 階市民ホール

3. 議 題
議 事

①病院開設・増床許可等事務に係る意見について

(甲南病院)

廣瀬保健福祉局健康部長 あいさつ

事務局より定足数の確認 (18名中13名の出席で有効に成立)、資料の確認

【病院開設・増床許可等事務に係る意見について (甲南病院)】

事務局より資料 2 に基づき、概要説明。

甲南病院より資料 3, 4, 5 に基づき説明。

[質疑等]

○委員

建設計画は大体わかりましたが、第 I 期新築工事中の診療はどのようにされるのですか。また、第 II 期の時はどうなっているのか教えていただけますか。

●甲南病院

現在、既に一部の建物の取り壊し等を進めておりますので、稼働病床が減っており、260床で稼働しております。工事の期間中その状態を続けていきますが、少なくとも現在の診療体制の機能は落とすことなく続けていきたいと考えております。

○委員

第 II 期の時はどうなりますか。第 I 期で甲南病院は概ね開設できると思いますけど、第 II 期の六甲アイランド病院は、どのようにされるのですか。

●甲南病院

六甲アイランド病院と統合することによって、六甲アイランド病院の主要な診療科の

医師には、2020年の春ごろに甲南病院に移っていただく予定になっております。Ⅱ期の新築工事をしている間の六甲アイランド病院も、基本的には診療は継続します。ただし、専門的な診療は甲南病院が中心になりますので、入院に関しては機能的に少し落ちます。外来診療は引き続き交代で甲南病院と六甲アイランド病院の両方で、診療を継続します。また、改修が必要ですので、病床数等に関して詳しく何床でということとは言えませんが、急性期は一部、残りは回復期で診療は続けながら改修をするという計画です。

○委員

出来上がったときの急性期病棟が1つ、それから、あとの4病棟が回復期、その体制の中で増減をするということですね。

●甲南病院

そうです。

○委員

急性期は、主には甲南病院のほうに移るということですか。

●甲南病院

そうですね。高度といいますか、かなり専門的な治療が必要、あるいは手術が必要な患者さんに関しては、甲南病院で治療する。六甲アイランド病院は、手術室は残す予定ですが、今のところはっきりとは言えませんが、おそらく実際には手術は実施しにくいと考えておりますので、基本的に手術が必要な方は甲南病院で行って、回復期になればまた六甲アイランド病院に帰っていただくという予定にしております。

○分科会長

六甲アイランド病院の外来機能の将来的な部分は、甲南病院のドクターが兼任されるので、今よりも増えるということですか。

●甲南病院

現在、20診療科ですが、診療科としては甲南病院と同じ29診療科で外来診療は行いたいと考えております。従いまして、外来は一部の医師には六甲アイランド病院に行っていて、外来だけやるというような形を考えております。

常勤医師は、六甲アイランド病院は今のところ22名から24名と考えております。

○分科会長

常勤される診療科というのは、内科と外科ぐらいですか。

●甲南病院

内科・外科・整形外科・麻酔科です。

○分科会長

建物のことですが、六甲アイランド病院の血液浄化センターや手術室とか、透析機能は拡張されるけれど、手術室とかはもう活用されないことになりますか。

●甲南病院

手術室は、さわずに一応は残します。

○分科会長

さわらないということは、人員の配置はなしということですか。

●甲南病院

現時点では手術は考えていません。ただし、本当に小さな外来手術とかが必要な場合は、使う可能性はあると思います。

○分科会長

日帰りとかですか。

●甲南病院

もっと簡単なものです。

○分科会長

もっと簡単な外来小手術みたいなものですか。

●甲南病院

そうなります。

○委員

歯科口腔外科についてお伺いしますが、将来的には甲南病院に移転すると理解してよろしいでしょうか。規模に関しては、縮小するとか、大きくするとか、あるいは、途中で一時的に診療できない状態になるとか、そのあたりはいかがでしょうか。

●甲南病院

施設的には、現在、外来4診でやっておりますけれども、新甲南病院では5診から6診の体制でやることを考えております。

○委員

ぜひ今後とも存続していただくとありがたいと思っております。

○分科会長

甲南病院と六甲アイランド病院の透析について、六甲アイランド病院の透析は「機能拡張」と書いてありますが、甲南病院も最終的に血液浄化の部分は今よりも拡張されるのですか。

●甲南病院

31床です。甲南病院としては同じ病床です。

○分科会長

外来での透析の機能は、今と変わらないのですか。

●甲南病院

急性期病院ですけれども、維持透析は続けるということで考えております。

○分科会長

新甲南病院のほうは、減らさずにということですね。

●甲南病院

はい。

○分科会長

I C Uは増えるのですか。

●甲南病院

新甲南病院は8床の予定です。六甲アイランド病院にも元々8床ありますが、現在運用しているのは4床ですので、それを考えると増えますが、もともと8床ありましたので、全体数としては同数の予定です。

○分科会長

新甲南病院のI C Uが増えるわけではないということですか。

●甲南病院

六甲アイランド病院のものを移しますので、数としては同じということです。

○分科会長

重なる機能として、リハビリが新甲南病院にあり、六甲アイランド病院にも現在37床の病床がありますが、この辺の配分は変わらずそのままですか。今回の機能分化で、新甲南病院が急性期で、例えば、リハビリは重点的に六甲アイランドに移すということはないわけですか。

●甲南病院

もちろん基本的にいわゆる地域包括ケア病棟が中心になりますので、地域の方のリハビリテーションとかに関しては、六甲アイランド病院が中心になると思います。甲南病院では、例えば術後の心臓リハビリですとか、そのような術後の患者さんを中心に実施するということになると思います。

○副分科会長

急性期機能が減少する六甲アイランド病院については、先月、住民の方に説明をされたとお聞きしておりますけれども、住民の方から、何かご意見とかは特にございませんでしたか。

●甲南病院

特に反対というご意見はなかったのですが、もともと風評が流れていて、六甲アイランドから甲南会が手を引くのではないかとか、老人病院になるのではないかというようなことを言われました。説明の中で、回復期の病院にしますという説明がなかなか理解いただけなくて、回復期とは何かということはかなり言われました。院長が丁寧に説明し、何とか納得いただいたような状態で、なかなか医療の言葉が通じないというところで苦勞はしました。ただ、終わった後、自治会のほうからは、何もこちらに苦情とか、質問がないので、ご納得いただいているのではないかと考えている状況です。

○副分科会長

甲南病院の周辺の住民の方は、特に問題はなかったですか。

●甲南病院

既に甲南病院周辺の近隣の方々へのあいさつ回りは済んでおり、解体工事の音がうるさいということに関しては、いろいろ言われておりますが、病院の規模が大きくなって、機能が拡張されるということに対しては、賛同いただいております。

○分科会長

他に質問がないようでしたら、これで質疑を終わりたいと思います。甲南会の方には、退席いただきたいと思います、どうもご説明ありがとうございました。

(甲南病院 関係者退室)

○分科会長

それでは、甲南病院に関する意見交換を行いたいと思います。どなたかご意見ござい

ますでしょうか。先ほど幾つか出ておりましたが、それ以外に何かご意見ございますか。

非常に狭いところで病院を建てられるので、この480床が精いっぱいだと思いますが、六甲アイランド病院を回復期とし、機能的な棲み分けはかなりされてるように思いますし、地域住民の方にも十分説明はされてるようです。

○委員

救急に関しても、普通にやっていただけますから、別に問題はございません。ただ、全体的な問題として、急性期の医療需要が減少していつている中で、大丈夫かなという一抹の危惧はするところがございます。今さら言っても仕方がない問題ですが、本当にこの病床規模が将来の医療需要を考えた上でされているという説明は難しいと思いますが、少し心配しています。

○分科会長

恐らくある程度の病床数を確保しないと、患者さんの数よりも、医師の確保に影響があるのではないかと思います。小規模の病院では、だんだんそういう状況になりつつあるので、人材の有効活用の面も多少あるとは思いますが。言われるとおり、将来的な予測はなかなか難しいと思います。

○委員

現在は、周辺にいろいろな病院がございますから、現在の病床利用率から考えたら、この場所に大きな病院ができると、他の病院はどうなるのかという心配もあります。

○分科会長

状況はまた変わるとは思います。

●事務局

先ほどのご質問に関連しますが、今後、医師の確保が神戸大学とうまくやっていけるのかどうか気になる点もありますので、会長からご意見いただければありがたいと思います。

○分科会長

私は分科会の会長なので、余り諸事情を言うのはよろしくないのですが、ただ、大学の中で、同じ診療科であれば分散して甲南病院と六甲アイランドに行っている状況よりは、まとまって2人行くほうが、研修機能上も病院の総合的な力から考えても良いと思います。同じ急性期機能が必ずしも六甲アイランド病院にある程度の規模でないとい

けないという距離ではないので、将来的には、これぐらいの中規模な病院が果たして大学と関連して研修機能を十分保っていけるかというようなことも考えると、なかなか難しい面があるので、住民の方々にご迷惑をおかけしない範囲内であるならば、その方向で考えていただいたらいいのではないかと思います。

●事務局

市としても非常に重要な病院であり、神戸大学との連携を図っていかれると思いますので、よろしくお願いします。

○分科会長

ありがとうございました。それでは、本日の議題はこれだけですので、これをもちまして閉会させていただきます。事務局より何かございますか。

●事務局

本日は、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

閉会 午後2時17分